令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上落合小学校】

6	次年度への課題と学力向上策	
知識·技能	次年度に向けて	
思考·判断·表現	未評価	

<u>(1)</u>	今年度の課題と学力向上策		
	学習上・指導上の課題		学力向上策【実施時期·頻度】
知識·技能	〈学習上の課題〉 国語「主語、述語、修飾語」 算数「図形」 〈搭準上の課題〉 文章で記述する問題「苦手意識を感じる児童が多い。 個上となったきく、正答数が半数を超えない児童も10%以 上いる。		- 毎時間の授業の中で大切なこと(まとめ)について、学習した言葉を用いて自分なりにまとめを記述することで、知識を確実に身に付けられるようにする。 【毎時間】 ・ スタディサブリやドリルパーク、復習用類似問題「おかわ(Re)」等を活用し、適用問題に繰り返し取り組む機会を増やす。 【単元に1度以上、学期にまとめブリント1枚以上】
思考·判断·表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「書くこと」 算数「基準量・比較量 割合」 〈指導上の課題〉、 問題を読み取る力、出題意図を正しく理解し、問題に正対し た考えを述べる力が弱い。	*	・誘着を推進する。(学校図書館での貸出冊数の制限を緩和する。)[通年] ・物語や説明文の大事なところを落とさず読み取り、短い文章でまとめて記述する時間 を設定する。[単元に度以上] ・事象やデージ標序から分析したり、考察したりしたことを記述する時間を設定する。[単元に度以上] ・過去の全国学力状況調査や市学習状況調査において比照された問題に取り組む時間を確保し、出題の意図を的確に捉えられるようにしていく。[単元に]度以上実施]

<小6・中3>(4月~5月)

5	評価(※)	調査結果学力向上策の実施状況	
知識·技能	(1) (2) (3)	店果分析(管理職・学年主任等) 詳細分析(学年・教科担当) 分析 <u>共有</u> (児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	童生徒の 学力の
思考·判断·表現		結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

4	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識·技能	
思考·判断·表現	

2	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)		
 知識·技能	国語科、真教科、理科ともに、知識・技能のどの領域においても市全体の平均を上回る結果となった。難しい問題に果敢に取り組んだり、家庭学習等で繰り返し問題を 解いたりすることが結果につるがったと考える。 国語の文章や資料を認み取り、意味を正く保えたり、目的に応じて、適切な言葉や形式を選ぶ力が身に付いている。算数では、分数の加法の理解や角の性質の問題 について正答率が高い。しかし、理科では電磁石の基本的な原理や性質を理解しているが、性質ごとに物質を分けたり、生活の中にある網やアルミニウムが何かを理解 していないところに課題がある。理科では、実物を使った観察・分類活動や、実生活に結びつく問題を解く等の活動を増やしていく必要がある。		
思考・判断・表現	国語・算数・理料の「思考・判断・表現」の領域で、市平均を上回る成果が見られた。自分の考えをまとめたり、友達に説明したりする活動が成果につながったと考えられる。 一方で、長文や情報量の多い問題では、重要な情報の整理や資料間のつながりを見つける力が強く、時間かかかる傾向がある。べっ図や理妙活動を通じて、精神の財務型行力を育てる必要がある。実施では、製造金や風、具体のは維み活動を通じて、表現力を高める工夫が求められる。理解では、物質の分類が不十分であるため、「電気を通すもの」「磁石にくっつくもの」などの視点で整理する練習が必要である。実験では「観察→分類→問い→表現」の流がを譲載した字習を進めていく。		

①結果分析(管理職·学年主任等 ②詳細分析(学年·教科担当)

	arms and the state of			
3	中間期報告		中間期見直し	
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期·頻度】	
知識·技能	B 中間語	- 毎時間の授業の中で大切なこと(まとめ)について、学習した 言葉を用いて自分なりにまとめを書く活動を積極的に問入れ ている。 ・スタディサブリやドリルバーク、復習用類似問題「おかわ (Re)」等を活用し、適用問題に繰り返し取り組む機会を多く 取り入れている。	・授業の中で大切なことを共有する場面や、復習問題の取り組み方について、よりよい方法を教員間で共有できるようにする。(9、10月)	
思考・判断・表現	目標・i	・週1回、図書館を利用したり、図書館司書に読み聞かせをしてもらったり、誘書の推進に務めている。1学期に「本読み合教」を企画し、グラス対抗で貸出冊数を競い、児童も本との出会いを楽しみにしていた。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)